

キャラクター名	プレイヤー名
顎賀舎 暮輝(あごがしゃ くれてる)	

シンドローム	エンジェルハイロウ エンジェルハイロウ	ワークス	ヒーローA	カヴァー	
オプション		年齢	32歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35%
出自	名家の生まれ	経験	仲間の死	邂逅	家族

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	20
感覚	6		0	1	2	9	(非装備時)	20
精神	2		0			2	戦闘移動	25
社会	0		0		1	1	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正									
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
サンライズ	白兵	1r+1	3	LV+4		コスト2。「光の剣」で武器作成。
ブレイクオン	白兵	1r+1		18		コスト4、攻撃力+1(感知)、戦闘移動する。離脱可。エンゲージ・封鎖の影響を受けない。ただし、攻撃の対象。単体のみ。
ブレイクフィスト	白兵	16r+1		34		エフェクト①+②+③+④+⑤。コスト12。C値8、装甲無視、判定後、武器破壊。
(100↑)サンライズブレイク	白兵	20r+1		70		エフェクト①+②+③+④+⑤+⑥。コスト16。C値7、装甲無視、判定後、武器破壊。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ヒーローコスチューム		6	-	-	「ヒーロークロス」が「スポンサード」取得で、装備中、【社会】のダイス+1個。

所持品		合計装甲:	6	合計回避:	0
バイク		ロイス			
カテゴリ:	ベテラン	対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス消費
パワーソース:	サイエンス	光使い	P	N	
	ヒーローズクロス	ブラザー	P 連帯感	N 悔悟	
メモリー:	地獄で会おうぜブラザー	顎賀舎 紅	P 幸福感	N 不安	
	リーサルシャイン	霧谷 雄吾	P 誠意	N 食傷	
	コネ: ヒーローマニア	ルルイエ	P 好意	N 猜疑心	
		金剛 涛牙	P 連帯感	N 不安	
		オケラ 獣人	P 誠意	N 恐怖	
		最大財産P:	6	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
光の剣	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	白兵武器作成。							
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	戦闘移動する。離脱可。エンゲージ・封鎖の影響を受けない。シーンLV回。							
オプティカルレンズ	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	エンジェルハイロウのエフェクトを組み合わせた攻撃力+【感覚】。単体のみ。シーンLV回。							
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	C値-LV(下限値7)。							
デトナイトチャージ	5	4	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	前提:「オプティカルレンズ」。攻撃力+[LV×4]。判定後、使用武器破壊。							
光の舞踏	1	2	Xジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果:	〈白兵〉を【感覚】で判定ができる。							
ピンポイントレーザー	1	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	装甲無視。ただし、攻撃力-[5-LV]。							
光の指先	4	2	Xジャー/リアクション	-	-	-	Dロイス	
効果:	ダイス+[LV+2]個。							
マスヴィジョン	5	4	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果:	攻撃力+[LV×5]。シナリオ3回。							
ファイナルフラッシュ	5	20	メジャー	-	-	対決	120↑	
効果:	リアクションのC値+1、攻撃力+[LV×5]。シーン1回。							
レスキューアクション	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生粋のヒーローであるナイスガイ。強引で美人には弱い。情に脆く確かな正義感を持っている。戦闘時はその身に太陽の如き輝きを宿す。

(以下は〈プロローグチャート〉のつもりです。)
俺には第一次レネゲイドウォーで戦いを共にした仲間達がいた。
「地獄で会おうぜブラザー」
ある日、戦いに赴く仲間にそう言われた。
「不謹慎だって? ああ、悪いそういうことじゃなくてな……」
「お前となら、お前と一緒になら、地獄だって一緒に歩いていけるって…… そういうことさ」
「これからもよろしくな」
俺は心地よい返事をし、ブラザーたちを見送った。
しかし、奴らが戦いから戻ることにはなかった。
それから俺はヴィランたちが跳梁跋扈する地獄を、一人歩くことになる。
今から約10年前、戦いは終結した。
俺は、実家に帰還して家族に自らの無事を伝えた……
日が開ける前、俺は衝動的に家を飛び出した。
俺となら、地獄でも一緒に歩いていける……そう、言ったじゃねえか。
仲間たちの墓標で佇む俺の背中、酷く寂しく見えたのかも知れない。
背中に何かが突っ込んでくる。そこにいたのは、一人の少女だった。
「朝っぱらやましくしやがって、その子が起きちゃったじゃないか」
そう言ったのは俺の両親だった。
少女は戦火に巻き込まれ、家族とその声を失い、俺の家に引き取られた子だった。